
スロウ・テンポ

沢田ウミコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スロウ・テンポ

【Nコード】

N3198B

【作者名】

沢田ウミコ

【あらすじ】

遠距離恋愛・歳の差恋愛・自分に足りないものを埋めるために、何かを求めた19歳の恋模様。

第1話 リコ

「恋する気持ちをあの人に理解してもらおうとすること自体、ムリなのかもしれない。」

「恋とか一人で勝手に盛り上がって暴走してる状態でしょうが」

冷静に自分を見つめて、将来のことを考えて生きてきた 店長らしい言葉。」

人生って不思議だ。

都会の薄暗い路地に建つマンションの一室。

40代半ばのオジサンの足をマッサージしながら、ふと思った。

（私、何してるんだろっ？）この仕事、嫌いじゃない。嫌いじゃないよ。

高校を卒業して 就職も進学も選ばず都内に引越して、ひとり暮らしのためにマッサージ師として働いた。興味のあった手に職な感じのお仕事。メンズ専門だから風俗と勘違いして来るお客様ともいちゃったりして、困るときもあるけど。でもいい人達もいるし、一緒に働いてる娘たちもみんながんばってるし。 でも、やっぱりなんか違う。

何か物事を決めるとき、私はいつも衝動的だ。

「ごめんなさい。私、今月で辞めます。」

「はい。じゃあ今月いっぱい、がんばってね」

一人暮らしと同時に働きはじめて3カ月。あっさり職なし。

（てゆうか社長、そんなあっさり笑顔で。。。）
「理子ちゃんはまだ19歳だし、人生これから色んな事をして、経験^{リコ}を積むことも大事だよ。」

（じーん。。。社長。。。ただのセクハラ親父だと思ってたけど。。ありがとう。）
「で、次、何するの？」

「。。。。。。カフェの。。。ウェイトレス。。。？」

（ハイ。思い付き発言！！）その日、求人誌をみて、お洒落なカフェの求人が目に入り即座に電話をしたのも、いつものようにただの衝動だった。思いついたら、動かすにはいられない。

面接は翌日。

カフェは人が賑わう大通りから少し離れた並木通りにあつた。オーブンしたのは先月。仕事の帰りにいつも通っていたのでバーとして開いていたのは知っていたが、カフェとはきずかなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3198b/>

スロウ・テンポ

2010年12月31日14時48分発行